

2016年度の事業計画の概要

1 誰でもが地域に住み続けられるための条件整備に関する事業

① マンション入居者のコミュニティ醸成支援と地域連携支援事業

継続してルネ追浜のコミュニティ醸成の支援をしてきたが今年度どのように支援していくかはルネ追浜フリスムクラブ・理事会の考え方によるので、具体的内容は未定。長年支援してきた親子サロンは自主サークル活動になったので今後は後方支援を行っていく。今後の支援は地域とのつながり、自治会立ち上げが中心になってくる。

② 空き家・空き店舗プロジェクト

空き家の増加は追浜地域でも大きな問題となっている。昨年度、関東学院大学の学生が、追浜地区の空き家を改装しシェアハウスとして居住するとともに地域の活動に参加するというプロジェクトを立ちげた。追浜2丁目平和会の協力得て、同町内に「びわの木ハウス2」の改装を実現し、既に学生が居住している。

2016年度には追浜南町の空き家改修により、コミュニティスペースが竣工する。今年度は、大学との連携による空き家改修と、学生の地域活動への参加を支援するとともに、地域住民からの情報提供もあるので、地域資源としての空き家・空き店舗の活用についてさらに検討を進める。

宅建資格保持者の会員の協力を得て、NPO法人による仲介事業も視野に入れて検討。

2 地域資源の保存・活用に関する事業

① 第三海堡遺構の見学・ガイドツアー

第三海堡遺構の見学については、個人、団体の予約を受け付けるとともに、当面毎月第一日曜日を予約無しでの一般見学日とし、ガイドツアーを実施する。また地域イベントでの公開も行い、いずれの場合も「おっぱまはっけん倶楽部」の全面的な協力の下に実施する。

② 追浜の自然や歴史遺産を活かすフィールドミュージアム構想の検討

追浜地域のフィールドミュージアム構想は、効果的なまちづくり手法として継続検討を行う。横須賀市は、あらたに貝山地下壕の一般公開に向けての調査実施ならびに地元との協力連携へ向けて動き出した。当法人では、既に貝山緑地の散策や勉強会を行っており、自然・戦跡等のフィールドミュージアム構想(案)を地図上に図化する作業を行った。今後は、横須賀市と連携を図るため地域住民のニーズを把握し、より良い構想の構築に向け準備を継続的に行う。併せて「あんず通信」により地域への広報の活動も継続的に行う。

今年度は、追浜フィールドミュージアムにおける自然系のまちづくりとして鷹取山を対象とする構想について検討する。鷹取山は、徳川幕府の天領で、明治に入り廃藩置県に伴い官有地が払い下げられた。その景観は石切り場の山肌が露出し、奇岩となって湘南妙義と呼ばれ、一時代は石材の事業で追浜の経済を支えていた。現在、山はハイキング楽しむ観光地、ミニ登山等の愛好家の健康志向の場として親しまれている。当法人は、また山を大切にする湘南鷹取の町内会等と連携し、景観保存等のための支援を行う。

3 地域の活性化に関するイベント事業

① おっぱまワイン寄席や私のこみせ

追浜地域内での開催を目指す。私のこみせへの支援を行う。

② こみゆに亭カフェを利用した講座等

年間3回程度の各種イベントを企画。今期は学生（主に関東学院生・留学生も含む）の意見も参考に企画を立てる予定である。

- ・ 追浜に住んでみたら等意見交換会
- 有料の継続的な講座の開催（下記参照）
- ・ ふるさと追浜を語るワンコイン座談会
 - ・ おいしいお茶の飲み方講座 Vol. 2
 - ・ 野菜ソムリエを招いて健康講座 等

4 まちづくりの人材育成に関する事業

① まちづくりに関心を持つ若者との交流

昨年度学生会員の制度を設けたが、今年度も空き家プロジェクトで追浜に居住する学生や、外国人留学生、プロジェクト活動で追浜に関わる学生の地域まちづくりへの活動を支援する。

② 各種団体との交流と人材育成の実施

追浜地域の団体では、（協）追浜商盛会、追浜地区社会福祉協議会、工業会等の団体と地域住民あるいは大学とをつなげる活動をして来た。今後はさらにこうした団体と地域課題の解決むけての活動を実現する中で、地域に関心を持つ多世代の人材を育成するプログラムを検討する。また、追浜地域以外、市域を越えたところでも共通する課題に取り組む団体との連携をはかり、その成果を参考としたい。

合わせて、当法人への視察を受け入れることでの交流を図るものとする。

5 酒類の醸造および販売事業

① 横須賀おっぱまワインの醸造・販売の協力

ワイナリーでの醸造協力と各種イベントを中心とする販売活動を行う。

6 地域の特産品の製造及び販売事業

① あらたな特産品の企画、製造

追浜地域で、おっぱまワインの次に特産品となるものを創造する。地域の資源、技術を掘り起こして特産品にする事も、フィールドミュージアムの一環である。関東学院の学生の協力も得て地域と産業を結び、追浜のオリジナル物産品を作るため、モニターの設置や試作品の製作に取り組み、販売の基礎を作る。

この事業については、平成28年度横須賀市NPO法人補助金を申請している。

7 広報に関する事業

① 会報「あんず通信」年2回の発行

② 各種冊子の発行、販売

『東京湾第三海堡物語』『貝山緑地見学のしおり』『追浜トンネル物語』『絵地図 おっぱま再発見』といった各種冊子の販売を行う。なお、『貝山地下壕見学のしおり』は、貝山地下壕の再公開に向けて、改訂の準備を始める。

③ 新たな地域広報誌の編集・発行

この事業についても、学生等新しい人材の導入を図る。

以上